

関東労災病院 患者用公衆無線Wi-Fi利用規約

(規約の趣旨)

第1条 本規約は、関東労災病院（以下「病院」という。）が患者及び来院者の利便性の向上を図ることを目的として提供する公衆無線 Wi-Fi によるインターネット接続サービス（以下「本サービス」という。）の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(規約の適用)

第2条 本サービスの利用者は、本規約のすべての内容に同意したものとみなす。

(利用者)

第3条 本サービスの利用者は、本サービスを利用する患者及びその他すべての者をいう。

(利用場所及び利用時間)

第4条 本サービスが利用できる場所及び時間は、以下のとおりとする。ただし、災害発生時やイベントなど病院が特に必要と認めた場合には、利用者に予告なく本サービスの利用について変更又は中止できるものとする。

提供エリア	利用時間
本館棟（病棟）	24時間
3西病棟 3F	
4東・4西病棟 4F	
5東・5西病棟 5F	
6東・6西病棟 6F	
7東・7西病棟 7F	
8東・8西病棟 8F	
9階病棟（分娩エリア含） 9F	

(利用者が準備するもの)

第5条 本サービスの利用を希望する者は、利用にあたって、次の各号に掲げるものを準備しなければならない。なお、病院からの機器等の貸し出しは一切行わないものとする。

- (1) スマートフォン、タブレット、パーソナルコンピューター等の接続端末
- (2) 公衆無線Wi-Fiインターフェイス
- (3) 閲覧ソフト

- (4) 接続端末におけるセキュリティ対策
- (5) 利用者が用意した接続機器（附属機器等を含む）に供給する電源

(本サービスの利用)

第6条 本サービスの利用者は、次の各号について同意したものとみなす。また、本サービスの利用者は不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）、その他の関係法等を遵守しなければならない。

- (1) 本サービスの利用料金は無料とする。
- (2) 本サービスを通じて利用者が利用した有料サービスの利用料金は、その理由に関わらず当該利用者が負担するものとする。
- (3) 病院は、設定等、技術的な質問についての問い合わせを一切受け付けない。
- (4) 本サービスについて、常に安定した接続環境を保証するものではない。
- (5) 本サービスへ接続する通信機器は、利用者自身でアンチウイルスソフト等を用いてセキュリティ対策を実施しなければならない。
- (6) 本サービスの利用者は、他者の迷惑とならないよう配慮し利用するものとする。
- (7) 病院は、本サービスの適切な利用を図るため、利用者のアクセスログを記録し、又は特定の Web サイトへのアクセスを制限することができる。

(禁止事項)

第7条 利用者は、本サービスの利用にあたっては、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 著作権その他の権利を侵害する行為又はそのおそれのある行為
- (2) 財産やプライバシーを侵害する行為又はそのおそれのある行為
- (3) 前2号に掲げるもののほか、他の利用者、第三者又は病院に不利益や損害を与える行為又はそのおそれのある行為
- (4) 他人を誹謗中傷する行為
- (5) 公序良俗に反する行為若しくはそのおそれのある行為又は公序良俗に反する情報を第三者に提供する行為
- (6) 犯罪的行為若しくは犯罪的行為に結び付く行為又はそのおそれのある行為
- (7) 選挙運動又はこれに類する行為
- (8) 営利目的、性風俗、宗教又はこれに類する行為
- (9) コンピュータウイルス等の有害なプログラムを、公衆回線ネットワークを通じ、若しくは関連して使用する行為又は提供する行為
- (10) 特定又は不特定多数に大量のメールを送信する行為
- (11) 音を出しての音楽・動画再生、データの大量送受信により通信回線に負担をかける等、他の利用者に対して迷惑になる行為

(12) ID又はパスワードを不正に使用する行為

(13) 前各号に掲げるもののほか、法令に違反、若しくは違反するおそれのある行為又は病院が不適切と判断する行為

(利用資格の停止・取消し)

第8条 利用者が次の各号のいずれかに該当する場合、病院は事前に通告することなく、直ちに当該利用者の利用を停止することができるものとする。

- (1) 禁止事項に該当する行為を行った場合
- (2) 本規約に違反した場合
- (3) その他利用者として病院が不適切と判断した場合

(運用の中止)

第9条 病院は、次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの運用を中止することができるものとする。

- (1) 本サービスのシステムの保守作業を定期的又は緊急に行う場合
- (2) 戦争、暴動、騒乱、労働争議、地震、噴火、洪水、津波、火災、停電その他の非常事態により、本サービスの運用を通常どおり行うことができない場合
- (3) 本サービスのシステムに係る設備やネットワークの障害等、やむを得ない事由がある場合
- (4) その他一時的な中断が必要であると病院が判断した場合

(免責等)

第10条 病院は、次の各号に掲げる項目について生じた損害等については、その責を一切負わない。

- (1) 本サービスの提供、遅滞、変更、中止又は廃止、本サービスを通じて登録、提供又は収集された利用者の情報の消失、利用者のコンピュータウイルス感染等による被害、データの破損又は漏洩その他公衆回線ネットワークに関連して発生した利用者のあらゆる損害については、病院はその責を一切負わないものとする。
- (2) 本サービスの内容及び利用者が本サービスを通じて得る情報等について、病院は、その完全性、正確性、確実性又は有用性等に関していかなる保証も行わないものとする。
- (3) 本サービスへの接続に係る利用者の機器設定は、利用者が行うものとする。この場合において、接続する機種、OS、ソフト等により本サービスを利用できない場合についても、病院はその責を一切負わないものとする。

(4) 利用者が本サービスを利用したことにより、他の利用者や第三者との間に生じた紛争等について、病院はその責を一切負わないものとする。

(損害賠償)

第11条 利用者が本規約に違反した結果、病院が損害を被った場合、その損害を利用者は負担しなければならない。

(端末情報の利用)

第12条 病院は、本サービスを把握するために、端末情報及び利用状況等を、病院に設置した通信機器において記録保管し、取得した情報は本サービスの運用改善に利用する。また不正アクセスやサイバー攻撃等の迷惑行為が発覚した場合は、取得した端末情報を公的機関に提供する。

(本規約の変更)

第13条 病院は、必要があると認めるときは予告なくこの規約を変更できるものとする。本規約の変更後に利用者が本サービスを利用したときは、利用者は変更後の規約に同意したものとみなす。

(特記事項)

第14条 この規約に定めがない事項については、当院が別に定めるものとする。

附 則

この規約は、令和7年5月30日から施行する